

## 令和3年度 指定管理施設に係る事業報告概要

|     |            |     |                 |
|-----|------------|-----|-----------------|
| 施設名 | 岩本町ほほえみプラザ | 所在地 | 千代田区岩本町二丁目15番3号 |
|-----|------------|-----|-----------------|

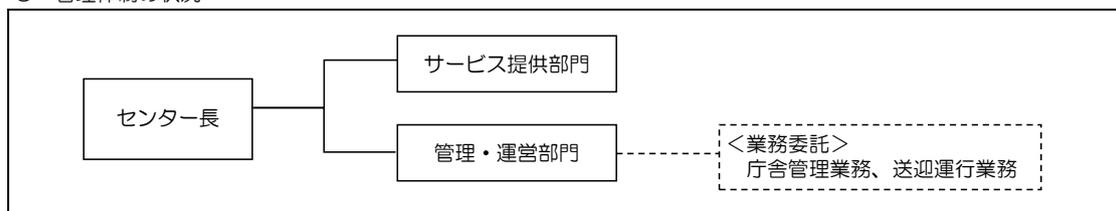
### 1 指定管理者の概要

|      |                      |      |                    |
|------|----------------------|------|--------------------|
| 名称   | 社会福祉法人 多摩同袍会         | 代表者  | 理事長 鈴木 侑子          |
| 所在地  | 府中市武蔵台一丁目10番地の1      |      |                    |
| 指定期間 | 平成31年4月1日～令和11年3月31日 | 報告期間 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日 |

### 2 管理施設の概要

|         |   |
|---------|---|
| 施設の目的   | 介護を必要とする高齢者等の自立した生活を支援し、在宅福祉の充実を図るとともに、地域交流を促進することにより、区民福祉の向上に資する。  |
| 管理業務の内容 | (1) 高齢者在宅サービスセンターの事業に関する業務<br>(2) グループホームの運営に関する業務<br>(3) ケアハウスの運営に関する業務<br>(4) 区民施設の利用承認に関する業務<br>(5) 施設・設備の保守及び維持管理に関する業務 |

### 3 管理体制の状況



### 4 事業実績等

#### ア 高齢者在宅サービスセンター事業

|       | 通所介護 |        | 介護予防通所介護 |      | 計     |      |        |       |
|-------|------|--------|----------|------|-------|------|--------|-------|
|       | 実施日数 | 利用者数   | 実施日数     | 利用者数 | 定員(日) | 実施日数 | 利用者数   | 利用率   |
| 令和3年度 | 311日 | 5,850人 | 311日     | 130人 | 30人   | 311日 | 5,980人 | 64.1% |
| 令和2年度 | 311日 | 5,389人 | 311日     | 320人 | 30人   | 311日 | 5,709人 | 61.2% |
| 令和元年度 | 309日 | 6,316人 | 309日     | 657人 | 30人   | 309日 | 6,973人 | 75.2% |

|       | 認知症対応型<br>通所介護 |        | 介護予防認知症対応型<br>通所介護 |      | 計     |      |        |       |
|-------|----------------|--------|--------------------|------|-------|------|--------|-------|
|       | 実施日数           | 利用者数   | 実施日数               | 利用者数 | 定員(日) | 実施日数 | 利用者数   | 利用率   |
| 令和3年度 | 311日           | 1,132人 | 311日               | 0人   | 12人   | 311日 | 1,132人 | 30.3% |
| 令和2年度 | 311日           | 1,410人 | 311日               | 0人   | 12人   | 311日 | 1,410人 | 37.8% |
| 令和元年度 | 309日           | 1,531人 | 309日               | 0人   | 12人   | 309日 | 1,531人 | 41.3% |

|       | 短期入所生活介護 |        | 介護予防<br>短期入所生活介護 |      | 計   |      |        |       |
|-------|----------|--------|------------------|------|-----|------|--------|-------|
|       | 実施日数     | 利用者数   | 実施日数             | 利用者数 | 定員  | 実施日数 | 利用者数   | 利用率   |
| 令和3年度 | 365日     | 5,786人 | 365日             | 13人  | 20床 | 365日 | 5,799人 | 79.4% |
| 令和2年度 | 365日     | 5,466人 | 365日             | 5人   | 20床 | 365日 | 5,471人 | 74.9% |
| 令和元年度 | 366日     | 6,068人 | 366日             | 121人 | 20床 | 366日 | 6,189人 | 84.5% |

イ グループホームの運営

|       | 定員 | 入退所者数 |    | 年度末在籍 | 平均介護度 | 平均年齢   |
|-------|----|-------|----|-------|-------|--------|
|       |    | 入所    | 退所 |       |       |        |
| 令和3年度 | 9人 | 5人    | 4人 | 9人    | 2.7   | 89.9 歳 |
| 令和2年度 | 9人 | 1人    | 2人 | 8人    | 2.5   | 93.5 歳 |
| 令和元年度 | 9人 | 4人    | 4人 | 9人    | 2.2   | 89.7 歳 |

ウ ケアハウスの運営

|       | 定員  | 入退所者数 |    | 年度末在籍 | 平均介護度 | 平均年齢   |
|-------|-----|-------|----|-------|-------|--------|
|       |     | 入所    | 退所 |       |       |        |
| 令和3年度 | 20人 | 4人    | 5人 | 17人   | 0.7   | 82.2 歳 |
| 令和2年度 | 20人 | 6人    | 4人 | 18人   | 0.7   | 82.5 歳 |
| 令和元年度 | 20人 | 6人    | 7人 | 16人   | 0.56  | 84.5 歳 |

エ 区民施設の利用

|       | 多目的ホールA |        | 多目的ホールB |        | 今川記念室 |        |
|-------|---------|--------|---------|--------|-------|--------|
|       | 件数      | 利用者数   | 件数      | 利用者数   | 件数    | 利用者数   |
| 令和3年度 | 164件    | 1,358人 | 93件     | 558人   | 19件   | 174人   |
| 令和2年度 | 124件    | 1,199人 | 67件     | 589人   | 0件    | 0人     |
| 令和元年度 | 446件    | 8,037人 | 353件    | 6,001人 | 208件  | 3,343人 |

オ 施設・設備の保守及び維持管理（通年）

- (7) 建物設備保守管理業務
- (f) 施設清掃業務
- (g) 警備業務 等

5 収支の状況

- ア 高齢者在宅サービスセンター事業
- イ グループホームの運営
- ウ ケアハウスの運営

|    |            | 計            | 通所介護        | 短期入所生活介護    | グループホーム     | ケアハウス       |
|----|------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 居宅介護料収入    | 149,912,887円 | 68,505,296円 | 58,818,836円 | 22,588,755円 | 0円          |
|    | 利用者等利用料収入  | 39,507,894円  | 6,569,397円  | 13,847,743円 | 19,090,754円 | 0円          |
|    | 補助金収入      | 71,416,725円  | 3,487,257円  | 5,091,320円  | 18,540,122円 | 44,298,026円 |
|    | 事業収入       | 27,520,794円  | 463,650円    | 0円          | 0円          | 27,057,144円 |
|    | 雑収入        | 98,860円      | 2,720円      | 91,390円     | 2,400円      | 2,350円      |
|    | 合計 (①)     | 288,457,160円 | 79,028,320円 | 77,849,289円 | 60,222,031円 | 71,357,520円 |
| 支出 | 人件費        | 223,363,919円 | 57,517,234円 | 55,464,212円 | 50,074,111円 | 60,308,362円 |
|    | 事業費 ※      | 37,200,229円  | 9,200,559円  | 11,175,539円 | 9,363,158円  | 7,460,973円  |
|    | 事務費 ※      | 30,529,632円  | 14,011,707円 | 11,608,531円 | 2,770,860円  | 2,138,534円  |
|    | 合計 (②)     | 291,093,780円 | 80,729,500円 | 78,248,282円 | 62,208,129円 | 69,907,869円 |
|    | 収支差額 (①-②) | -2,636,620円  | -1,701,180円 | -398,993円   | -1,986,098円 | 1,449,651円  |

※ 事業費に減価償却費等を含む。事務費は雑支出を含む。以下 同し。

エ 区民施設事業

| 収 入        |              | 支 出    |              |
|------------|--------------|--------|--------------|
| 指定管理料      | 147,491,086円 | 人件費    | 15,801,231円  |
| 利用料収入      | 10,577,551円  | 事業費    | 35,694,512円  |
|            |              | 事務費    | 106,746,065円 |
| 合計 (①)     | 158,068,637円 | 合計 (②) | 158,241,808円 |
| 収支差額 (①-②) | -173,171 円   |        |              |

6 指定管理者による自己評価

| サービス提供に関して   | 収支に関して  |
|--|---|
| <p>・通所介護の稼働は、重度者の受け入れ、科学的介護推進加算を行った。特に入浴や機能訓練の需要は高く、前年度増加させた入浴回数（3回）や訓練時間を確保してサービス維持に努めたが、利用率は7%減少した。</p> <p>・短期入所介護事業は、感染防止対策として眠りスキャンや非接触型バイタル測定機器を活用した環境整備を図っており、利用率が5%上昇回復した。</p> <p>・グループホーム事業は、オンライン面会やZOOMを利用し、家族との交流を維持した。稼働率が上がり、年度末は満床（9床）となった。</p> <p>・ケアハウス事業は、感染予防対策として2部制を導入し密にならない余暇活動を行ったが、利用率は6%減少した。</p> <p>・区民施設の多目的ホールは、4～7月まで新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場として使用した。国の緊急事態宣言再発出や都内蔓延防止等重点措置の適用下で、夜間利用等の中止など感染防止策を徹底して、可能な限り貸館業務等を行った。但し、地域行事の中止に伴い、地域交流活動は中止となった。</p> <p>今後も諸事業について、「コロナ禍でも行える活動」を行いつつ利用率向上を目指すとともに、高齢者の活動拠点として、地域交流活動を可能な限り行う。</p> | <p>介護保険事業は、コロナ禍という未曾有の社会状況に置かれて以降、収入は大幅な減収となっている。</p> <p>通所系事業の利用控えが続き、介護報酬の減額改定や、諸物価の上昇も重なり、マイナスの収支となったが、新規利用者獲得のため短期入所の案内周知を積極的に展開し、諸経費の抑制に努めることで、前年並みの収差に収めることができた。また区のコロナ禍による介護報酬減収支援補助は、大きな支えとなった。</p> <p>グループホームやケアハウス事業については、空床期間短縮と入所募集期間の短縮を図るため、区広報の活用はもとより、入所待機者への案内を積極的に展開し、稼働率の向上を図り、収入確保に努めた。</p> <p>施設管理及び区民施設管理運営は、コロナ禍における事業の中止や縮小に伴い、利用料収入は大幅に減収となった。光熱水費や人件費をはじめとする諸物価が上昇傾向にあるが、今後も日ごろから節水・節電を徹底するなど諸経費抑制に努め、サービスの維持を図る。</p> |

7 区による評価・業務改善要求

|   |
|---|
| <p>長期化する新型コロナウイルス感染症は、様々な高齢者施設の利用に負の影響を与えており、通所系介護の利用率低下はやむを得ないものとする。そうした中、感染症対策を行い、短期入所系介護の利用率が増加したことは大いに評価できる。また、グループホーム事業で、サポート隊のオンライン面会やZOOMを利用した家族や利用者同士の交流など、「コロナ禍でも行える活動」を工夫して実施していることは評価できる。さらに、開放中止や時短など利用に制限が多かった区民施設の多目的ホールを、新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種会場として3か月間提供し、感染拡大防止に寄与したことは評価できる。一方、回復傾向にあるものの収支がマイナスとなっているため、安定した運営となるよう、引き続き経営努力を求める。</p> |
|---|

8 今後の指定管理に区が期待すること

|   |
|---|
| <p>高齢者施設及び区民施設いすれにおいても、コロナ禍のさらなる長期化を見据えた施設運営が必要である。指定管理者には、施設利用者と業務に従事する職員の健康と安全に十分留意していただくとともに、情勢を見ながら、区と引き続き対応の協議や緊密な連携を期待する。</p> |
|---|